

度、顕微鏡による染料の浸透状態、染色堅ろう度などについて実験および考察を行なった。

2. 試料は乾式ビニロンタフタ、絹羽二重、ビニロン絹交織羽二重、染料は Acid Fast Red B を用い、染料濃度は 4%、2%、1% と 0.5% とし、温度は 70°C、80°C、90°C の 3 段階とした。浴比は 1:100 である。

3. その結果、ビニロンの染色は温度による影響が大きく高温で高い染着率を示す。絹との交織の場合は染色初期では絹に近く、後期になるとビニロンに近づき、染着率は高い値を示すが、染色布の明度はビニロンに比べて大分高くなり、悪い結果になる。この傾向は低濃度で高温の場合ほど著しい。本実験の範囲では染料濃度 4% (owf)、染色温度 70~80°C の場合において、比較的同色染めに近い結果が得られた。

B-40 乾式紡糸ビニロンの染色に関する研究 (第 2 報)

姫路短大 土井千鶴子

1. 本研究は最近新しく市場に出て来た乾式紡糸ビニロンについて、その染色性を研究するために行なったが、今回は酸性染料を用いて、染色温度および染料濃度の変化によるビニロン、絹、交織織物の染着率、染色濃